

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	SGLT2 阻害薬がケトン体産生に与える影響の後方視的検討		
1. 研究の目的と方法	糖尿病有病者と糖尿病予備群は合わせて約2,000万人いるといわれており、糖尿病有病者の割合は最近20年間で増加傾向にあります。糖尿病はさまざまな合併症を引き起こし、生命予後や生活の質（QOL: quality of life）に大きな影響を与える深刻な疾患です。近年SGLT2阻害薬が糖尿病の代表的な合併症である糖尿病性腎症や心不全の予防に有用であることが報告されています。これらの効果の機序として、ケトン体の産生上昇が注目されています。今回、SGLT2阻害薬内服前後で、血中ケトン体濃度がどのように変化したか、検討することとしました。2020年8月から2023年9月の期間にSGLT2阻害薬を開始し、開始前および開始後に血中ケトン体測定をした患者情報を電子カルテ診療録から収集します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2型糖尿病の患者さんで、2020年8月1日～2023年9月30日にSGLT2阻害薬を開始し、開始前半年以内・開始後2か月以内に血中ケトン体分画を測定した18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科
		氏名	浮地 里佳子
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2023年12月中旬頃～
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学附属葛飾医療センター 研究責任者：助教 浮地 里佳子（うきち りかこ） 電話番号：03-3603-2111（内線 5979） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。